

2026 年度宮城学院女子大学 総合型選抜 II 期

現代ビジネス学部現代ビジネス学科 論述試験

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

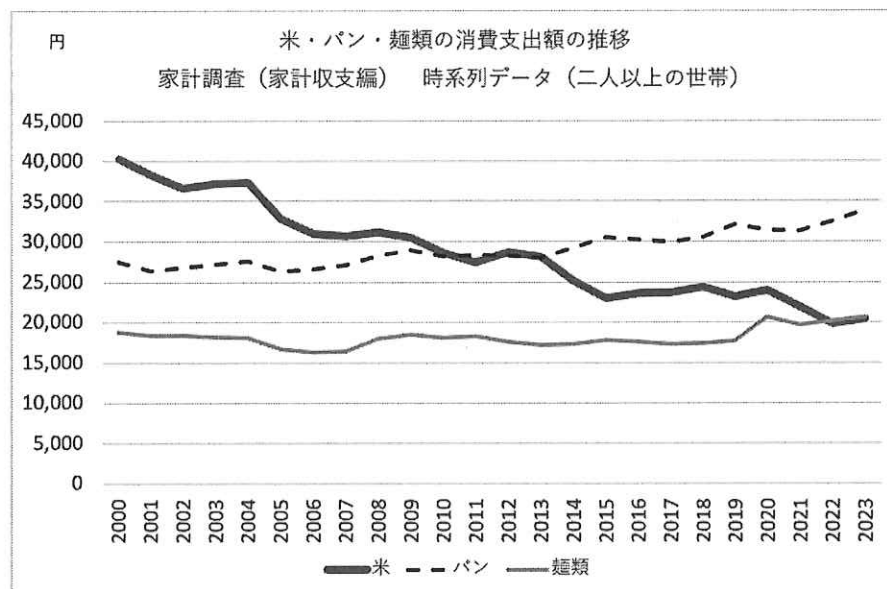
この部分は著作権の都合により公表できません

(河北新報 (2025 年 6 月 23 日) 「東北発コメ有論 23／第 6 部答えの在りか [3] 一部改変)

問 1. 下線部①について、「不足感から卸や小売、家庭の各段階で保管量が増え、価格上昇につながった」と書かれているが、家庭において過剰な保管を無くすためには、どのような対策が必要だと考えられるか。このことについて述べなさい。（200 字以内）

問 2. 下線部②について、J A全農山形は J R 山形駅に「お米は高いと感じますか？」と問いかける大型広告を掲載した。この対応については、全国から批判が寄せられたが、あなたはどのように考えるだろうか。このことについて述べなさい。（200 字以内）

問 3. 下線部③について、米の価格の適正な水準は「生産者支援と一体的に考える必要がある」と述べられているが、米は価格の下落とともに長期にわたって消費量が減少する傾向が見られた。次のグラフは、米・パン・麺類の消費支出額の推移を示したものである。このグラフで見られるように、家庭が 1 年間に購入する米の消費支出額は、2013 年以降にパンを下回るようになった。このような状況において、日本国内の農業生産者が継続的に米を生産していくためには、どのような取り組みを考えていくべきであろうか。本文に書かれていることも踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。（400 字以内）



出所：総務省統計局「家計調査（家計収支編）」をもとに作成

問 1 (配点 30 点)

市場で食品の流通が不安定になると、消費者は自宅に在庫を蓄えていても事前に購入するようになる。このような行動は、マスコミやインターネットなどから得た情報が影響していると考えられるが、消費者の不安を払拭するためには食品に関する情報を適切に把握し、公開する必要がある。主食である米の流通については、食料安全保障を確立するためにも、生産から小売に至るまでの在庫量を政府が正確に把握する必要があると考えられる。(200 字)

問 2 (配点 30 点)

農産物の価格は、一般的に需要と供給のバランスによって決まるため、そのときの状況によって変動するが、米の価格は消費の低迷も関係し、長期にわたって安価で販売される状況が見られた。JA 全農山形が掲載した広告は、昨年からの状況を踏まえて安価だった米の価格について消費者に考え直してもらいたいという狙いがあったと思われるが、カップ麺の価格と比較するよりも直接的なメッセージを伝えることが必要だったと考えられる。(200 字)

問 3 (配点 40 点)

国内で米の生産を継続的に生産していくためには、消費を増加させるとともに生産者の所得を高めていかなければならないが、国内で主食用米の消費を促したとしても、高齢化や国内の人口減少を考えると消費量を増やしていくことは簡単なことではない。米の消費を増やしていくためには、米を活用したパンや麺を普及させるなど、主食用以外の活用を考えながら国内の生産量を増やしていくべきである。さらに、世界の人口が増加していることを踏まえると、海外へ積極的に輸出していくことも検討していくべきである。輸出に際しては、輸出量を増やすだけでなく、高値で取引できるように、味の良さや品質の高さなど、海外産品との違いを明確にして売り込む必要がある。また、近年のインバウンドの増加も考えると、寿司や和食の文化を同時に広げていくことも重要な観点となる。このように従来までの米の流通とは異なる観点で新しい取り組みを検討していくべきであろう。(400 字)

【出題意図】

受験生の地域産業への知識と理解度、文章・グラフを読み取る力、指示に応じて論理的な文章を構成する力、現代の課題に対して論理的かつ共感的な想像力を働かせられるかを、考査する。